

新興国活用による更なるコストダウン 「調達改革」



強まるコストダウン要請に対して、地場サプライヤの力を活用し、新興国を積極的にバリューチェーンに組み込むことが肝要です。

新興国市場の重要性が増すなかで、一層厳しくなりつつあるコストダウン要請

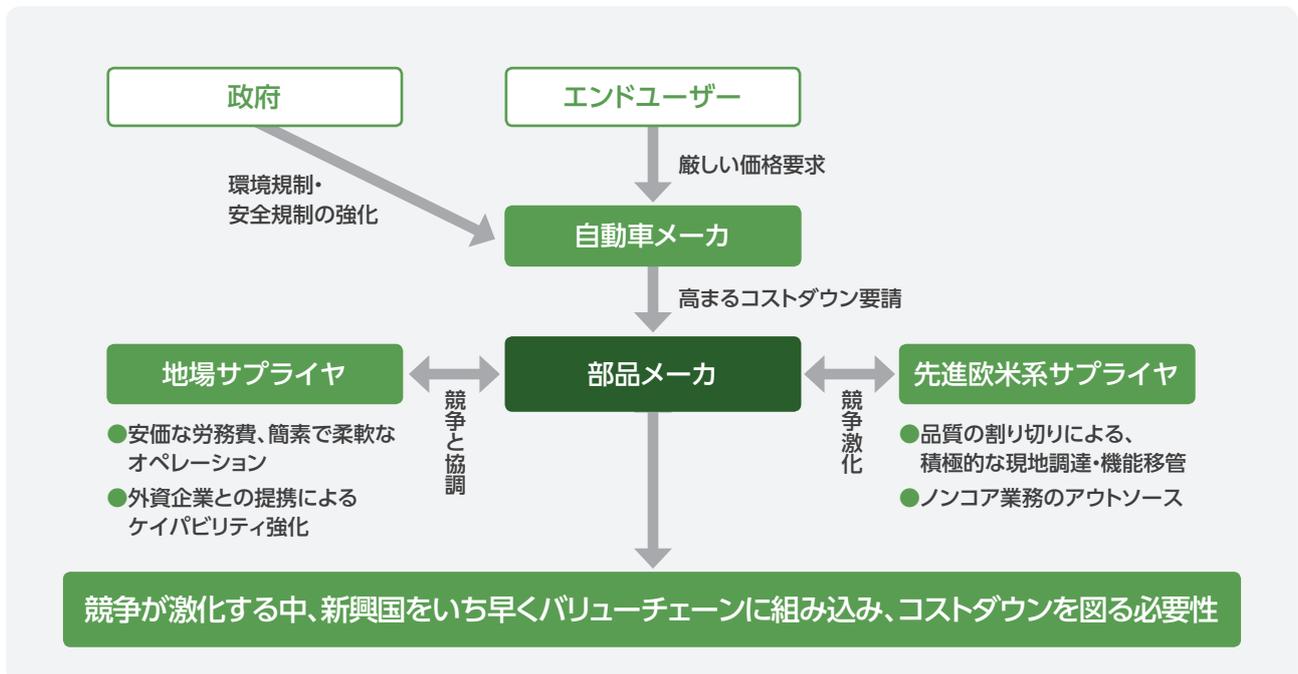
先進国市場の新車販売台数が頭打ちとなる一方、中国を筆頭とする新興国市場の重要性が高まっております。このような中、自動車メーカー・部品メーカーにとって、「コストダウン」は避けて通れないテーマです。中間層の台頭、及び環境・安全規制の強化を受けて、新興国では「手頃な値段で買える、高機能なクルマ」が求められており、メーカーは「安価なモノづくり」に磨きをかける必要があります。

エンドユーザーからの厳しい価格要求に伴い、自動車メーカーから部品メーカーへのコストダウン要請も一層厳しさを増しています。既に、先進国中心のオペレーションでは固定費の増加に耐えられない時代が到来。部品メーカーにとっては、新興国を活用したコストダウンを、不退転の覚悟をもって実現することが求められています。

地場サプライヤの力を活用し、新興国をバリューチェーンに組み込む必要性

新興国では、地場サプライヤの台頭が顕著です。地場サプライヤは、安い労務費・品質の割り切りなどで実現したアグレッシブな低価格設定で、自動車メーカーへの拡販を加速させています。特に中国・インドでは、地場の素材メーカーや金型メーカーの存在といった、「産業のすそ野の幅広さ」を活かし、自ら創意工夫しコストダウンを行うメーカーも増えてきました。また、アフター市場向けの部品に目を向けると、中国などは世界中への部品供給を担うようになり、部品の品質向上も相まって、OEM純正部品にも使用され始めています。このような状況下、先進的な欧米系サプライヤは、積極的な現地調達・機能移管を進め、中国・インドのオペレーションを強化。地場サプライヤとの連携を強化し、コストダウンを図っています。

新興国におけるコストダウン要請と競争激化の構図



NRIは、新興国を活用した調達戦略立案から、調達先探索まで調達改革を包括的に支援します。

新興国に深く根づいた拠点体制で、地場サプライヤとのパートナーリングを支援

NRIは、有望サプライヤが多く存在するアジア地域において、特に充実した拠点体制を整えております。NRIの各海外拠点は、日頃から、現地の業界団体や地場サプライヤと強固なネットワークを構築。有望サプライヤの探索や評価・選定においては、NRI自らがサプライヤにコンタクトを行い、お客様の交渉をご支援いたします。

また、NRIの特徴として、単なる有望サプライヤの探索のみならず、その前段階の調達戦略立案もご支援しております。「事業環境分析」では、マクロな視点から、国別の強みや課題を分析。また、市場調査も行うことで、どのような環境下で部品が使用されるのか、といった具体調査も実施します。その上で、調達国・調達部品・価格といった「ターゲット設定」を実施。その後の「シミュレーション」では、調達先変更によるコストメリットや、各種リスクに対する感度などを分析いたします。

ケース：インドにおけるパワートレイン部品の新規調達先探索、及び協業検討

NRIは、インドにおける強固な業界ネットワークを活用し、パワートレイン部品の新規調達先探索、及び抽出された企業との協業可能性の検討に伴走しました。

企業探索フェーズでは、1) お客様の経営課題に則った、新規調達先に求められる能力の明確化、及びあるべき協業の姿の明確化を図り、2) NRI独自のデータベース活用、及び現地業界団体・地場有力企業へのインタビューにより、短期間でロングリストを作成しました。

ロングリスト作成時においては、デスクトップ調査のみならず、有望企業へのNRIによるソフトサウンディングにより、QCDDMの観点から企業を評価し、有望企業を抽出しました。評価・選定フェーズでは、実際にお客様を潜在調達先の地場サプライヤにお連れし、具体的な交渉を側面支援。その後の協業可能性についても、議論・交渉を実施しました。

NRIの新興国を活用した調達改革サービスの特徴

